

## ②9 富山市街地重点防御築堤事業

受賞機関 国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所

**キーワード** 河川利用、景観に配慮した堤防整備、河道掘削土砂を利用した発生土抑制

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

三割勾配の緩傾斜化による河川利用促進と嵩上げ、拡幅をする築堤事業。富山市中心部を防御する堤防整備事業において、事業名にネーミングを付け、認知度、理解度の向上に努めた点が評価された。

### 1. はじめに

神通川は岐阜県の川上岳を水源として、富山県を北流し日本海に注ぐ一級河川である。下流域は県都富山市の市街地が両岸に控えており、氾濫が発生した場合の被害は大きい。一方で、近年は氾濫危険水位まで上昇する洪水やこれに迫るような洪水が頻度高く発生し、氾濫発生リスクも高まっている。被害が大きくなる当地区の洪水発生リスクを低減するための堤防整備に取り組んでいる。

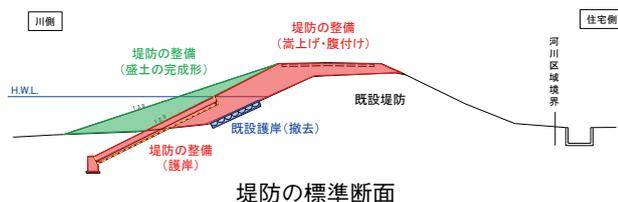
### 2. 事業の概要

当該事業は堤防断面が不足し、石張護岸が老朽化している右岸側の堤防整備を「富山市街地重点防御築堤事業」とネーミングし、堤防嵩上げ、拡幅及び護岸の改修を実施するもので、越水、侵食や浸透に対する堤防の安全性を高めるものである。

当該箇所は河川利用者が多い箇所であることから、堤防の整備に当たっては、河川へのアクセスや景観にも配慮し、覆土により川表側の勾配を緩傾斜化することで、より自然な河川空間の創出を図っている。



完成した堤防



堤防の標準断面

### 3. 事業の成果

本事業のネーミングにより、地域の皆さまに事業への理解を深め、愛着を持って頂いたことで、地域との各種協議が円滑に進み、かつ地域からの期待も高まり、国土強靱化5箇年加速化対策予算の積極的活用により、令和元年度の事業着手以降5年間の短期間で完成させることができた。

さらに、令和5年度には、感染症対策として開催が見送られていた花火大会と同時開催のサンセットイベントが4年ぶりに開催され、多くの市民や観光客が訪れ、河川空間が地域の賑わいを創出する場として貢献できたのではないかと考えている。



打ち上げ花火



緩傾斜となった堤防上から花火を観覧

### 4. おわりに

近年の気候変動の影響による洪水氾濫リスクに対して地域からの水災害に対する防災への期待が年々高まる中で、本事業はこの期待に応えるとともに、本事業を通じて治水事業全般に対して、地域が理解を深め自分事として捉えて頂くことができた例になったものと考えている。

この取組を地先の一つの事業に留めずに流域全体として発展させ、神通川の治水事業が住民に愛され、一体となって地域の発展に繋がるよう取り組んでいきたい。

賛助会員 日本工営(株)、(株)建設技術研究所、NiX JAPAN(株)、(株)林土木、酒井建設(株)、射水建設興業(株)